

未来へつなぐとちぎ農業フォーラム2024

『農業の夢を語ろう～農業を仕事にする！農業の魅力と可能性～』

日程 令和6（2024）年12月10日（火）

12:30 開会

12:45 事例発表

13:40 パネルディスカッション（高校生・農大生・宇大生・農業者）

※農業関係高校生7名、農業大学校生1名、宇都宮大学生1名、事例発表者2名

14:40 閉会

会場 栃木県総合教育センター 大講義室（宇都宮市瓦谷町1070）

事例発表者



市川 元基

足利市在住

（株）長谷川農場 牧場長

県内農業高校卒業後、

県農業大学校の畜産学科に進学。

大学卒業後は、地域に根ざした農業に従事したいと、足利のブランド牛「足利マール牛」を育てる（株）長谷川農場に雇用就農し、就農1年半後には牧場長に抜擢されるなど活躍を見せる。

日々、従業員全員で働きやすい環境作りに邁進中。



井上 真梨子

那須町在住

東京の監査法人に勤務後、岡山市のカフェ経営を経て、平成30年に出身地の那須町で就農。

「田んぼが持つ価値」や「意義」、地域における「農業の担い手としての役割」が重要と考え、お米の価値を引き出す活動に取り組んでいる。

「風景の美しさ、気持ちよさ」など「魅力」を感じられる「田んぼカフェ」の体験を企画するほか、新しい農業の姿を追求している。



コメンテーター



土屋 恭則

（栃木県農業士会会長）

■さくら市在住

■土地利用型農業で地域の担い手として規模拡大を進めるほか、高品質低コストの経営を行う。

■地域の特産、酒米の山田錦、もち麦を栽培するほか、さつまいもの産地化を目指している。



室井 真佐美

（栃木県女性農業士会会長）

■矢板市在住

■野菜部門において、作付け計画の作成から栽培・販売管理まで中心的な役割を担っている。

■食と農の理解促進に向け、地域に根ざした農業を実践している。

MC



山口 あや（フリーアナウンサー）

■レディオベリーで栃木の農業・林業を応援する番組『ナチュラリズム』パーソナリティとして番組を担当

■とちぎ未来大使

■「いちご王国」アンバサダー

■とちぎオープンファーム動画制作担当

（栃木県農政部YouTubeチャンネル）

■母の実家であるさくら市のお米農家で毎年田植えを手伝うことが恒例行事